

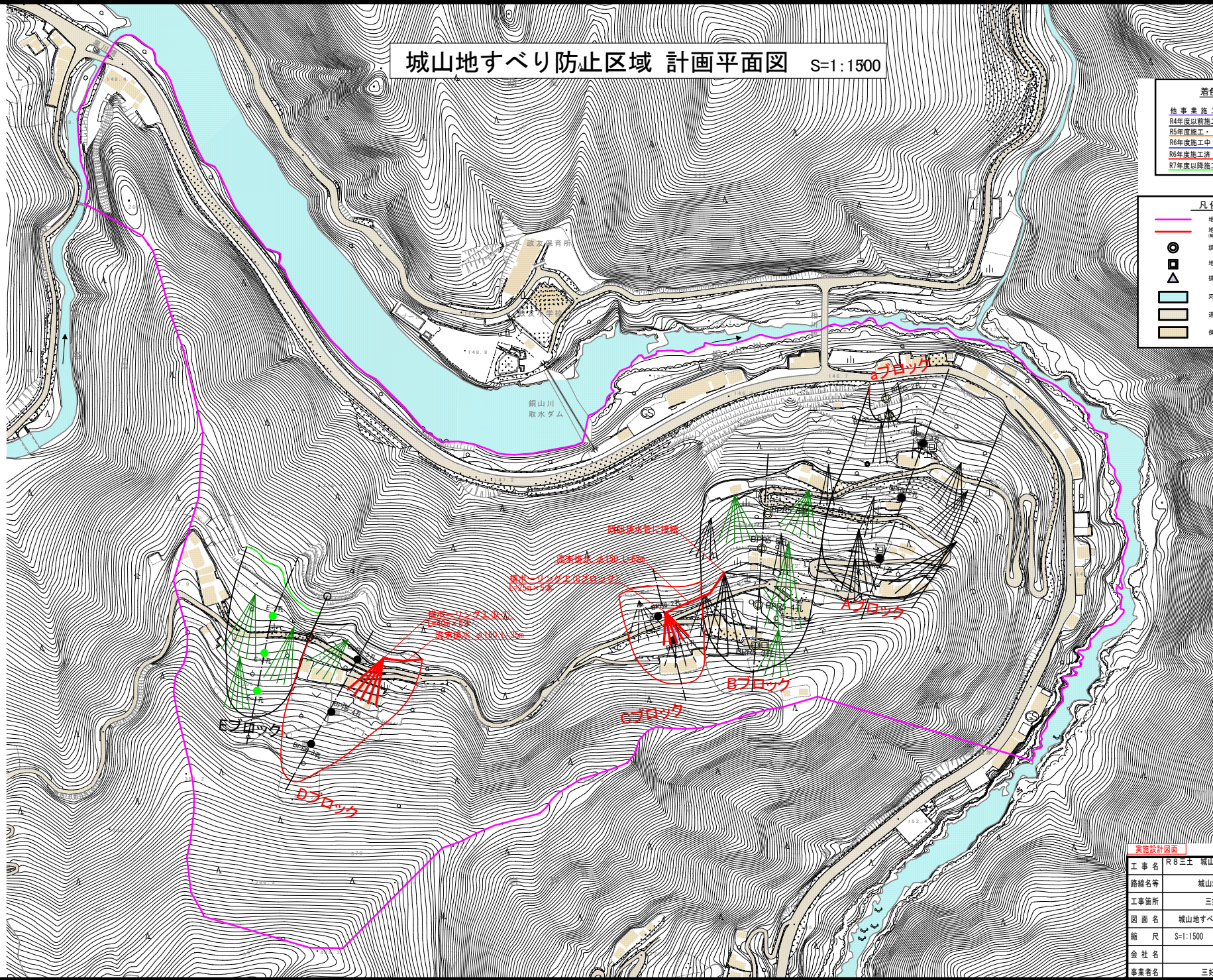
# 城山地すべり防止区域 計画平面図 S=1:1500

**着色凡例**

地事業施工	.....紫色
84年度以前施工	.....藍色
85年度施工	.....緑色
86年度施工中	.....黄色
86年度竣工済	.....桃色
87年度以降施工	.....緑色

**凡例**

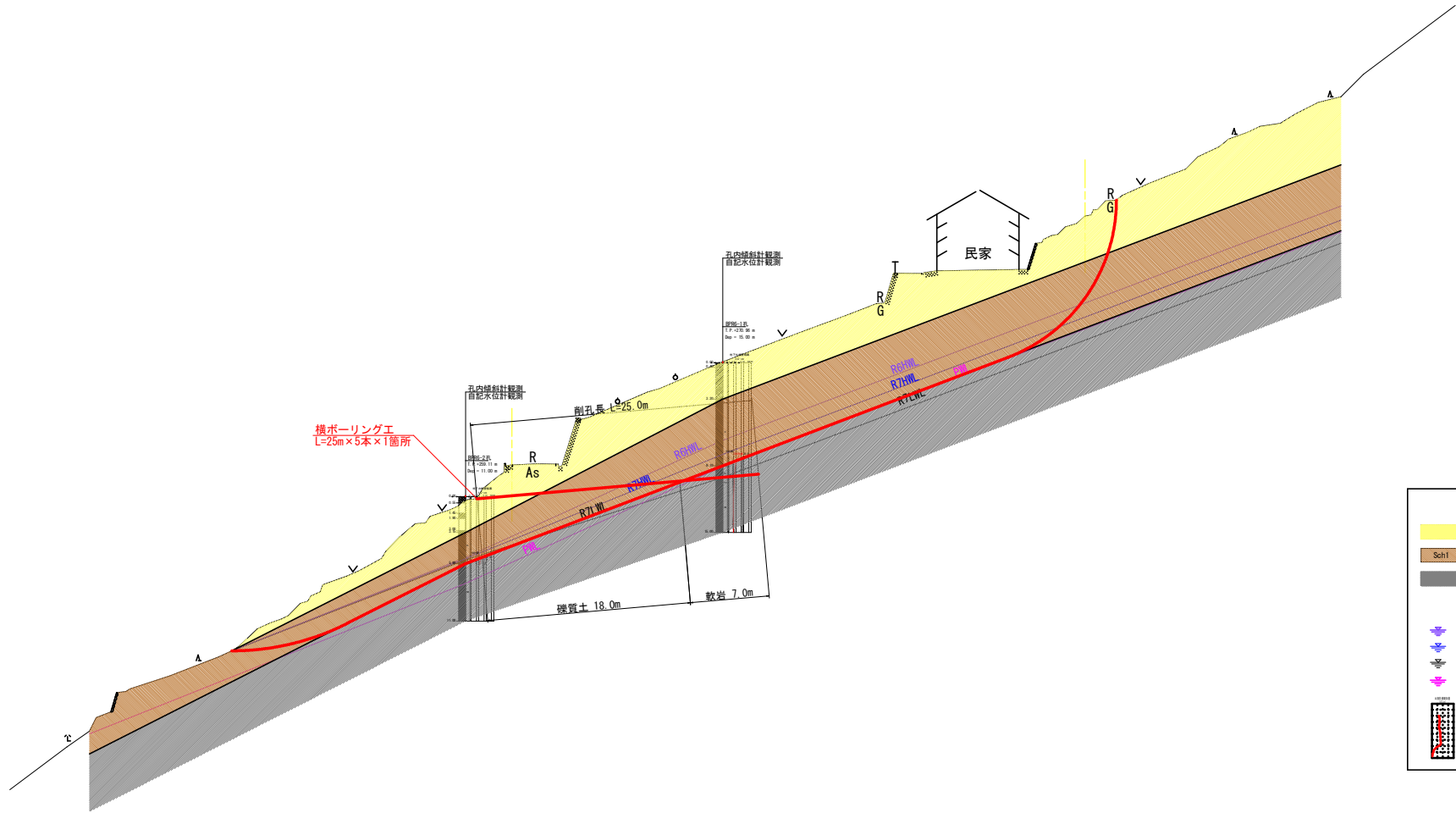
——	地すべり防止区域
——	地すべりブロック
●	調査ポイント位置
▲	地下水位孔設置位置
▲	排水量観測位置
□	河川・谷
□	道路
□	保全地区



**実施設計図書**

工事名	R8三土 城山地すべり 三・山城黒川 地下水排除工事
路線名等	城山地すべり防止区域
工事箇所	三好市山城町黒川
図面名	城山地すべり防止区域 計画平面図
縮尺	S=1:1500 図面番号 1 / 5
会社名	
事業者名	三好県土整備事務所

Cブロック断面図 S=1:200



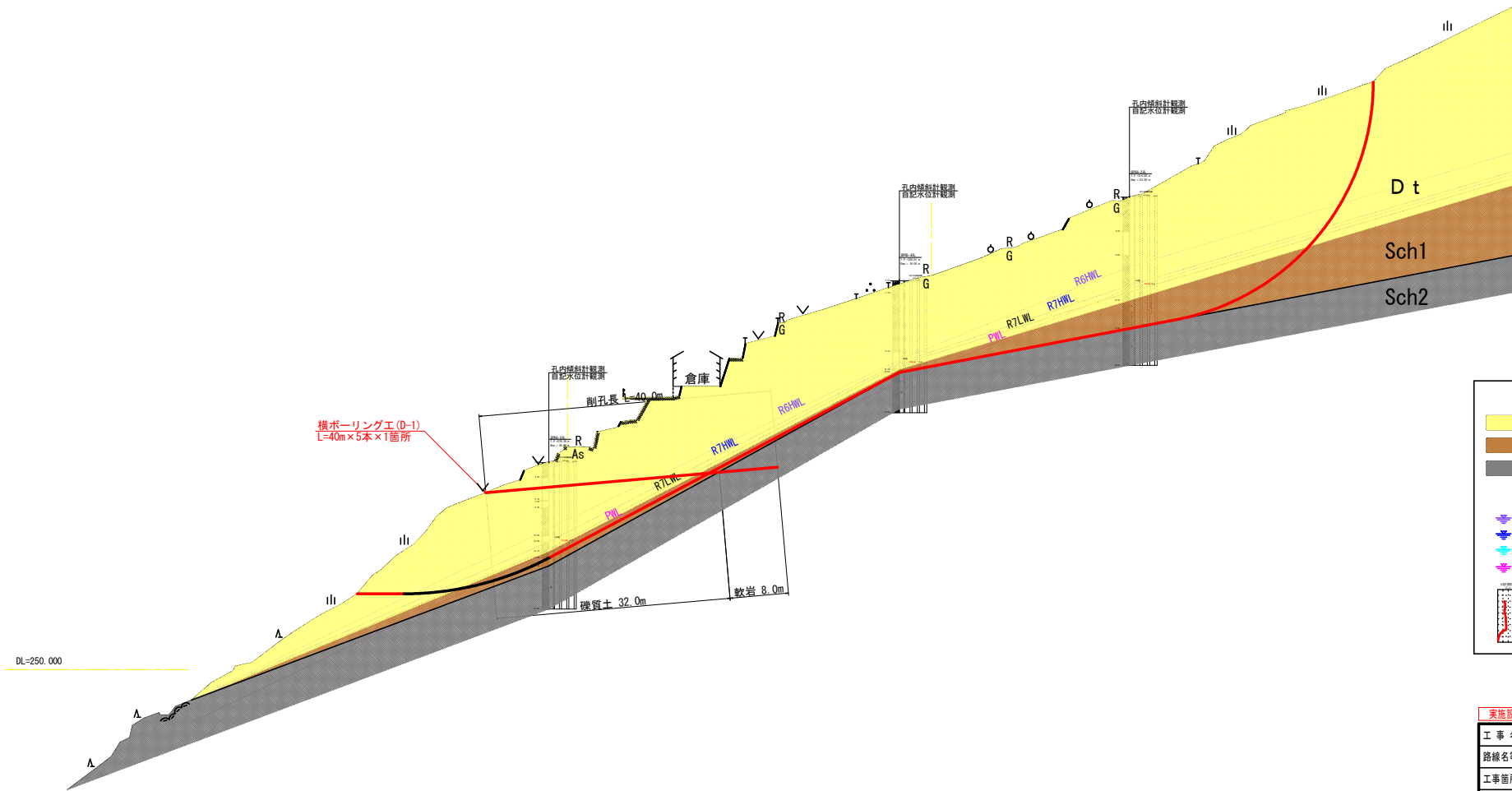
凡例

地質区分	
	崩積土層
	Sch1 強風化岩層
	安定基岩層
三波川 結晶片岩	
地下水水位	
	令和8年度最高水位 (R8HWL) ... R8HWL
	令和7年度最高水位 (R7HWL)
	令和7年度最低水位 (R7LWL)
	掘削工導入後想定水位 (PWL)
	地下水降下結果図 比降抗増加量 (1.20分後)

実施設計図面

工事名	R8三土 城山地すべり 三・山城黒川 地下水排除工事
路線名等	城山地すべり防止区域
工事箇所	三好市山城町黒川
図面名	Cブロック断面図
縮尺	S=1:200 図面番号 2 / 5
会社名	
事業者名	三好県土整備事務所

Dブロック断面図 S=1:300



**凡例**

**地質区分**

- 崩積土層
- 強風化岩層
- 安定基岩層

三波川  
結晶片岩

**地下水位**

- 令和8年度最高水位 (RHWL) (---RHWL)
- 令和7年度最高水位 (R7HWL)
- 令和7年度最低水位 (R7LWL)
- 設計工事入浸想定水位 (PWL)

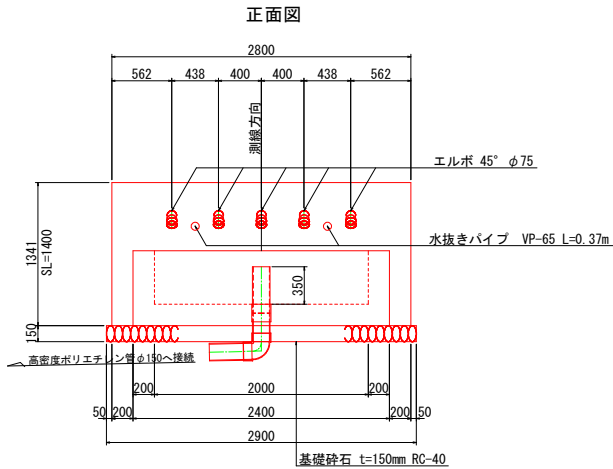
地下水経路結果図  
北流状況増加量 (120分後)

**実施設計図面**

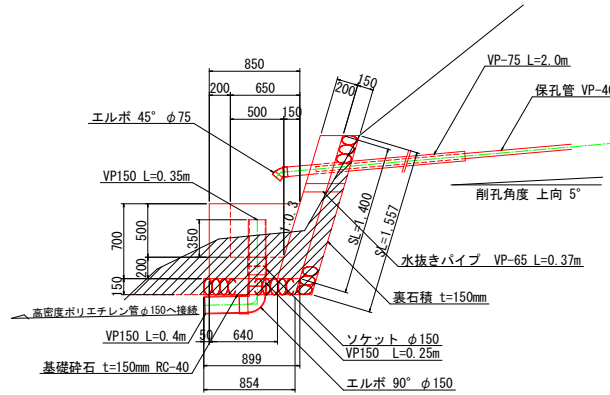
工事名	R8三土 城山地すべり 三・山城黒川 地下水排除工事
路線名等	城山地すべり防止区域
工事箇所	三好市山城町黒川
図面名	Dブロック断面図
縮尺	S=1:300 図面番号 3 / 5
会社名	
事業者名	三好県土整備事務所

# Cブロック対策工 詳細図

孔口処理 S=1:25



断面図 (Cross-section Diagram)



注記)  
壁の勾配や高さについては現地地形を考慮し、協議により承認を得た後に変更しても良い。

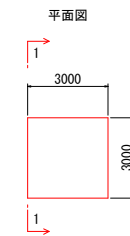
床掘断面積 A=0.9m<sup>2</sup>  
※埋戻断面積微小のため数量計上しないものとする。

孔口処理工数量表

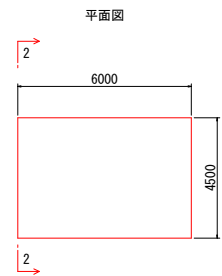
項目	算式	単位	数量	1.0箇所当り
床掘	土砂 0.9 × (2.8+0.05 × 2)	m <sup>2</sup>	2.6	
張コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup> 0.2 × 1.4 × 2.8	m <sup>2</sup>	0.78	
同上型枠	一般型枠 無筋 1.4 × 2.8 + 1.4 × 0.2 × 2	m <sup>2</sup>	4.48	
裏石積	t=150mm 1.557 × 2.8	m <sup>2</sup>	4.36	
集水側コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup> 1/2 × (0.64+0.85) × 0.7 × 2.4 - 1/2 × (0.5+0.65) × 0.5 × 2.0	m <sup>2</sup>	0.68	
同上型枠	一般型枠 小型 2.4 × 0.7 + 1/2 × (0.64+0.85) × 0.7 × 2 + 2.0 × 0.5 + 1/2 × (0.5+0.65) × 0.5 × 2	m <sup>2</sup>	4.30	
基礎砕石	t=150mm RC-40 1/2 × (0.899+0.854) × 2.9	m <sup>2</sup>	2.54	
水抜きパイプ	VP-65 0.37 × 2	m	0.74	
硬質塩化ビニール	VP-75 2.0 × 5	m	10.00	
硬質塩化ビニール	VP-150 0.35+0.25+0.4	m	1.00	
エルボ	45° φ75	個	5	
エルボ	90° φ150	個	1	
ソケット	φ150	個	1	
高密度ポリエチレン管	φ150 無孔管ダブル	m	62.0	
足場工	単管 (1/2 × (0.3+1.5) × 2.7 + 1/2 × (1.5+2.5) × 1.8) × 6.0 + (1/2 × (0.3+1.5) × 2.7 + 1/2 × (1.5+1.9) × 0.3) × 3.0	空m <sup>2</sup>	45.0	

足場工 S=1:100

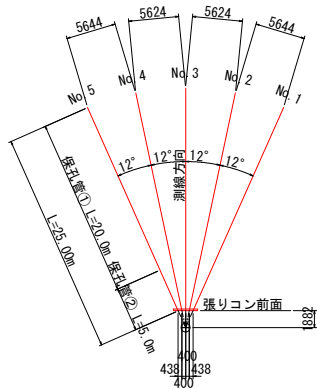
機器材足場



削孔用足場



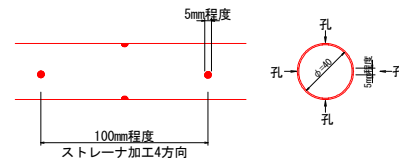
横ボーリング工 S=1:300



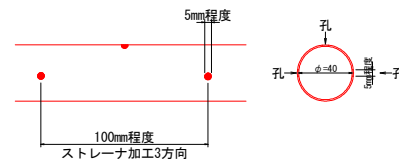
孔番号	硬質土	軟岩	計
No. 1	18.0	7.0	25.0
No. 2	18.0	7.0	25.0
No. 3	18.0	7.0	25.0
No. 4	18.0	7.0	25.0
No. 5	18.0	7.0	25.0
計	90.0	35.0	125.0

孔番号	保孔管		計
	①	②	
No. 1	20.0	5.0	25.0
No. 2	20.0	5.0	25.0
No. 3	20.0	5.0	25.0
No. 4	20.0	5.0	25.0
No. 5	20.0	5.0	25.0
計	100.0	25.0	125.0

保孔管① S=1:2

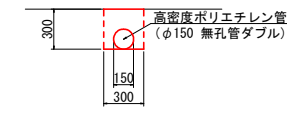


保孔管② S=1:2



注記)  
保孔管は適切なジョイントにて堅固に接続すること。  
ネジ式で接続する際は開孔方向のズレに留意して、堅固に接続できない場合はジョイントを用いること。

流末暗渠工 S=1:20  
延長 L=62m

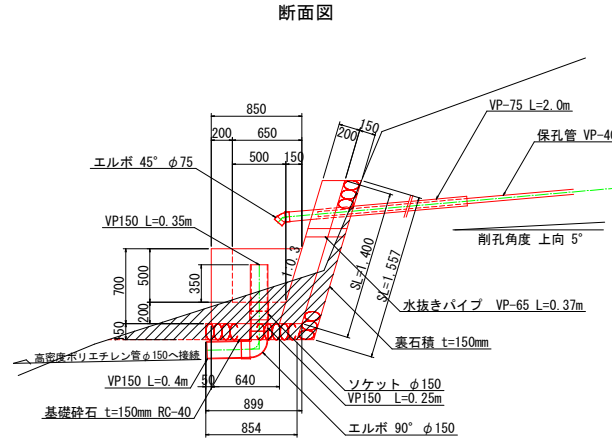
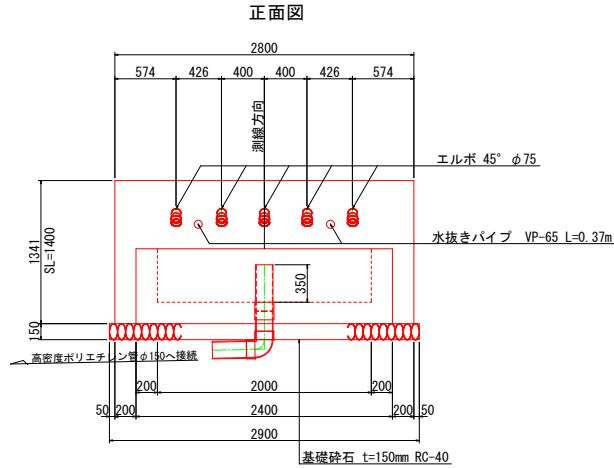


種別	数量
床掘	0.9 m <sup>2</sup>
埋戻	0.7 m <sup>2</sup>
暗渠 (φ150)	10.0 m

実施設計図面	
工事名	R8三土 城山地すべり 三・山城黒川 地下水排除工事
路線名等	城山地すべり防止区域
工事箇所	三好市山城町黒川
図面名	Cブロック対策工 詳細図
縮尺	図示 図面番号 4 / 5
会社名	
事業者名	三好県土整備事務所

# Dブロック対策工 詳細図(D-1)

孔口処理 S=1:25



注記)  
壁の勾配や高さについては現地地形を考慮し、協議により承認を得た後に変更しても良い。

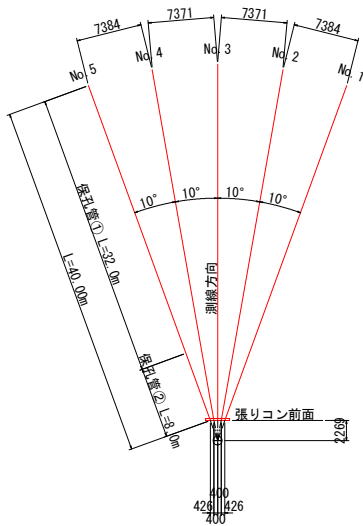
床掘断面積 A=0.7m<sup>2</sup>

※埋戻し面積微小のため数量計上しないものとする。

## 孔口処理工数量表

項目	算式	単位	数量	1.0箇所当り
床掘	土砂 0.7 × (2.8+0.05 × 2)	m <sup>2</sup>	2.0	2.0
張コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup> 0.2 × 1.4 × 2.8	m <sup>2</sup>	0.78	0.78
同上型枠	一般型枠 無筋 1.4 × 2.8 + 1.4 × 0.2 × 2	m <sup>2</sup>	4.48	4.48
裏石積	t=150mm 1.557 × 2.8	m <sup>2</sup>	4.36	4.36
集水側コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup> 1/2 × (0.64+0.85) × 0.7 × 2.4 - 1/2 × (0.5+0.65) × 0.5 × 2.0	m <sup>2</sup>	0.68	0.68
同上型枠	一般型枠 小型 2.4 × 0.7 + 1/2 × (0.64+0.85) × 0.7 × 2 + 2.0 × 0.5 + 1/2 × (0.5+0.65) × 0.5 × 2	m <sup>2</sup>	4.30	4.30
基礎砕石	t=150mm RC-40 1/2 × (0.899+0.854) × 2.9	m <sup>2</sup>	2.54	2.54
水抜きパイプ	VP-65 0.37 × 2	m	0.74	0.74
硬質塩化ビニール	VP-75 2.0 × 5	m	10.00	10.00
硬質塩化ビニール	VP-150 0.35 × 0.25 × 0.4	m	1.00	1.00
エルボ	45° φ75	個	5	5
エルボ	90° φ150	個	1	1
ソケット	φ150	個	1	1
高密度ポリエチレン管	φ150 無孔管ダブル	m	35.0	35.0
足場工	単管 1/2 × (0.3+2.1) × 4.5 × 6.0 + 1/2 × (0.3+1.5) × 3.0 × 3.0	空m <sup>2</sup>	40.5	40.5

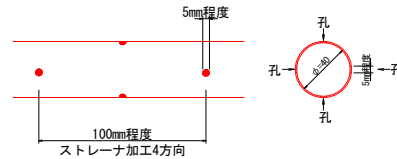
## 横ボーリング工 S=1:300



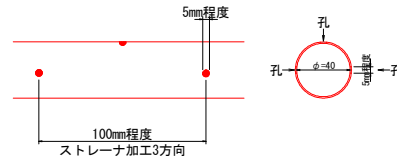
孔番号	硬質土	軟岩	計
No. 1	32.0	8.0	40.0
No. 2	32.0	8.0	40.0
No. 3	32.0	8.0	40.0
No. 4	32.0	8.0	40.0
No. 5	32.0	8.0	40.0
計	160.0	40.0	200.0

孔番号	保孔管		計
	①	②	
No. 1	32.0	8.0	40.0
No. 2	32.0	8.0	40.0
No. 3	32.0	8.0	40.0
No. 4	32.0	8.0	40.0
No. 5	32.0	8.0	40.0
計	160.0	40.0	200.0

## 保孔管① S=1:2



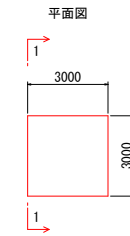
## 保孔管② S=1:2



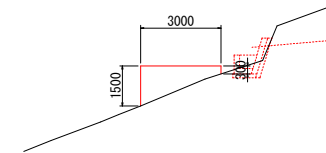
注記)  
保孔管は適切なジョイントにて堅固に接合すること。  
ネジ式で接合する際は開孔方向のズレに留意して、堅固に接合できない場合はジョイントを用いること。

## 足場工 S=1:100

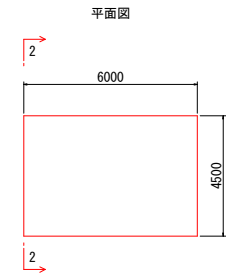
### 機器材足場



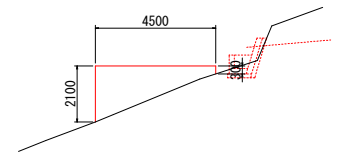
### 断面図(1-1)



### 削孔用足場

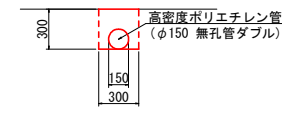


### 断面図(2-2)



## 流末暗渠工 S=1:20

延長 L=35m



種別	数量
床掘	0.9 m <sup>2</sup>
埋戻し	0.7 m <sup>2</sup>
暗渠(φ150)	10.0 m

## 実施設計図面

工事名	R8三士 城山地すべり 三・山城黒川 地下水排除工事
路線名等	城山地すべり防止区域
工事箇所	三好市山城町黒川
図面名	Dブロック対策工 詳細図(D-1)
縮尺	図示 図面番号 5 / 5
会社名	
事業者名	三好県土整備事務所